

予算等審査特別委員会の総括質疑は市議会ホームページで生中継するほか、録画でも視聴できます。



録画配信は
こちら⇒



南大沢駅及び京王堀之内駅周辺環境の整備のため、駅前公共施設の更新を行う。

問 都が進めているデジタル技術等を活用した南大沢スマートシティの計画もある中、公共施設更新時に、先端技術をいかした案内誘導等を取り入れられないか。

答 先端技術をいかした案内誘導等は、すべての利用者に有効な手法と考えており、施設更新時に取り入れられるよう関係所管とともに取り組んでいく。

問 京王堀之内駅周辺の公共空間に求められる機能は、南大沢駅周辺と異なると考えるが、どのように取り組むのか。

東部地域の駅周辺の整備は



大型商業施設が集積する南大沢駅と日常生活の拠点である京王堀之内駅周辺を整備

答 南大沢駅周辺とともに、東部地域を支える拠点と考えている。多摩ニュータウンのまちづくり方針の見直しを見据え、学識経験者を含めた懇談会を行っており、京王堀之内駅周辺のさらなる発展に向け、まちづくりの方向性を議論していく。

問 京王堀之内駅周辺の公共空間に求められる機能は、南大沢駅周辺と異なると考えるが、どのように取り組むのか。

答 検討をさらに進めていく予定である。

問 当該地区のまちづくり実現に向けた市の考えは。

答 東京たま未来メッセや八王子駅など、区域内の資源とともに、企業や大学等の人材や設備などの多様な地域資源を有効活用することで、新たな価値を生み出し、チャレンジを誘発するまちづくりを推進していきたいと考えている。

旭町・明神町地区のまちづくりは

答 旭町・明神町地区周辺まちづくりについて、7年度はどのように取り組んでいくのか。

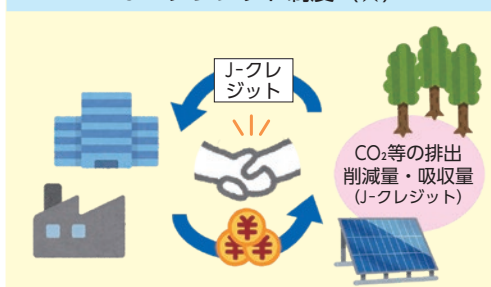
問 旭町・明神町地区周辺まちづくりについて、7年度はどのように取り組んでいくのか。

答 引き続き関係者との協議・調整を行うとともに、建築費の高騰など、事業を取り巻く環境が変化していることから、社会経済情勢を捉えた事業計画の

ゼロカーボンシティ実現に向けて

ゼロカーボンシティ実現のため、太陽光路面パネル整備のほか、みどりの保全を行う。

※ J-クレジット制度 (★)



適切な森林管理等により、生み出された二酸化炭素等の吸収量や排出削減量を、排出する権利として国が認証する制度で、企業等に売却することができる

問 太陽光路面パネル整備等の再生可能エネルギー導入など、幅広い取り組みで、二酸化炭素排出量が減少しているが、今後の目標は。

答 2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指し、市民に見える地球温暖化対策に努め、市民や事業者とのオール八王子で、ゼロカーボンシティ実現に向けた取り組みを推進していく。

問 適切な森林管理等による、二酸化炭素等の吸収量・排出削減量を国が認証するJ-クレジット制度※の活用ができないか。

答 現在、家庭や事業所の省エネなどの行動変容を中心に取り組みを推進している。J-クレジットも認識しており、視野に入れた上で、ニーズに応じたバランスの良い手法で取り組んでいきたいと考えている。